

## 令和7年度総合防災訓練 各連区訓練実施一覧

連区名	訓練個別内容 / 工夫した点等
道 泉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おうち防災訓練、安否確認訓練、避難訓練、大声訓練、けが人搬送訓練、防災クイズ、炊き出し訓練、簡易トイレ設営訓練、ワンちゃんと避難訓練</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易トイレの設営訓練を始めて実施したが、多くの連区民がこぞって体験に参加出来た。災害時、トイレの必要性がきわめて重要である事を広く周知出来た。</li> <li>・多くの連区民に参加していただくため、訓練内容を運動会形式で実施。</li> <li>・連区民が進んで参加し、深く訓練を進める事が出来た。</li> <li>・初めてペットを参加させての避難訓練を試みたが、ペットが飼い主の思うように動いてくれなくて、うまく進行できなかった。そういったことから災害時、ペットとの避難は、今後の課題である。</li> </ul>
深 川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担架を利用して負傷者搬送訓練、パーテーション設置、ダンボールベッド設置、トイレ設置、ソーラーパワー電源設置、LPG発電機の操作訓練</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練開始前（7：45～）深川分団さんにご協力いただき連区内に周知アナウンスをしました。（連区内を消防車で巡回していただきました）</li> </ul>
古瀬戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AED講習、日用品使用応急手当実演、防災用テントの設置、着替え用テントの設置、簡易トイレの使用方法、少量の水で洗える洗剤の業者実演説明、炊き出し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数回にわたり定例会議で日時内容の説明</li> <li>・古瀬戸分団車による当日の内容開始案内広報</li> <li>・訓練当日の時間割作成</li> </ul>
東 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンボールベッド作成使用体験、多言語対応体験、翻訳ソフト利用体験、発電機の軌道体験、使用時の電気機器の負荷体験、簡易トイレを設置し実物を見て使用した場合の状況をイメージしてもらった。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンボールベッドで実際に横になってみる体験をし、長時間利用について考えてみた。</li> <li>・発電機に実際の電気器具を接続し、どのようなことが起きるか体験した。ガス発電機は出力不足を感じた。</li> <li>・多言語対応では、翻訳ソフトの周知と活用方法の体験をした。停電時にも活用できるとよい。</li> <li>・防災訓練前日に防災リーダーの研修を実施し、当日は防災リーダーに参加者の指導をお願いしたことはよかった。</li> </ul>

祖母懷	<p>①避難所開設訓練 公民館の各部屋を一般の方の部屋・高齢者の部屋・負傷者の部屋・高齢者の部屋・授乳室・女性用更衣室等それぞれの部屋に受け入れの部屋作りをおこなった。各部屋に段ボールベット・エアーマット・ワンタッチパーテーション・目隠しテント・簡易トイレ・ワンタッチテント等の設置をした。</p> <p>②水消火器訓練 ③土のう訓練 ④簡易放水訓練 ⑤アルファ米の試食（女性防火クラブ） ⑥握力測定等（保健推進委員）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主防災リーダー、防災委員、各種団体が集まり3班に分かれて行った。</li> <li>・ それぞれの班が役割分担をしっかりと行った。</li> <li>・ 今回も災害はいつ起こるかわからない為、事前の準備はせずに、倉庫から各班が必要な機材を探して持つて行くことから部屋作りを行った。</li> <li>・ それぞれの班が、昨年の反省点をふまえて改善しながら行った。</li> <li>・ 各部屋のレイアウトを皆で意見を出し合い部屋づくりを行った。</li> <li>・ はじめて参加する方も多いため声掛けをして教えあい皆で協力して行うことができた。</li> </ul>
陶 原	<p>・ 消火訓練、煙体験、救出訓練、土嚢づくり、応急手当、A E D、衛生管理、トイレ問題</p> <p>・ 全体を6グループに分けて訓練を回しているため、各訓練の時間がほぼ同じになるように訓練内容を検討した。</p> <p>・ タイムキーパーを置いて、適切な時間管理を行った。</p> <p>・ 消防にお願いして、訓練以外に油火災消火デモをしていただいた。</p> <p>・ 訓練アイテムを一部入れ替えて、新鮮味を出した。</p>
效 範	<p>・ 防災倉庫見学、煙体験、消火体験、マンホールトイレ見学、炊き出し訓練、応急担架作成訓練、応急止血訓練、応急固定訓練、応急骨折手当訓練、簡易間仕切り設置訓練、ダンボールベッド設営訓練、応急トイレ設営訓練</p> <p>・ 訓練内容を充実させるため、今回は参加体験型としたことにより、従来2つの会場で行っていたものを1つの会場で実施することにした。これにより、様々な体験ができたという声がある一方で自分の学区（避難所）で訓練が受けられないという問題もあり、今後の課題となる。</p>
水 野	<p>・ 水消火器、初期消火、水防訓練、応急手当訓練、A E D訓練、炊き出し訓練、煙体験</p> <p>・ 地域力、消防団と協力して数多くの訓練を実施している。</p> <p>・ 実際に天ぷら火災の消火訓練も参加者にやってもらって、リアル感を出すように工夫している。</p> <p>・ 訓練の最後に消防団の一斉放水で締めくくっている。</p>

水 南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安否確認、避難所開設可否訓練、避難者受け入れ訓練、避難所開設DVD及び避難所生活実態DVDの鑑賞、AED訓練</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AED訓練は女性分団員、水南分団員、消防職員が連携して指導し、多くの参加者がAED操作に携われるように工夫した。</li> </ul>
品 野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所受付の設営、レイアウトの確認、区割り作業、備蓄倉庫の確認、パーテーション、トイレの設置、簡易ベッドの組み立て、ガス発電機の実演、炊き出し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性の方に積極的に参加してもらった。</li> <li>・ 避難場所までスムーズに到着できるように導線を見直した。</li> <li>・ 今回の訓練の前に住民台帳が整理されて、介護が必要な住民が把握できた。</li> </ul>
長 根	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所設営、救出訓練、パーテーション設置、ダンボールベッド作成、非常食・水・トイレの確保</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1人1日あたりの食事・水・トイレなどを展示説明をした。</li> </ul>
西 陵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所運営委員会による避難所開設及び運営、応急手当、要支援者避難支援者訓練、要支援者在宅避難訓練、避難所レイアウト設定、段ボールベッドパーテーション設置、LPG発電機設置、簡易トイレ設置、水洗トイレ排水経路異常有無点検訓練、高齢者車両避難と誘導訓練、小学生スタッフ参加訓練、小学生防災自由研究展示、アレルギーと非常食プレゼンテーション、情報取次センターの開設、炊き出し、簡易スリッパ作成</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水野消防分団・水野在宅福祉センター・NGO福祉団体・災害救助支援経験者・看護師・防災士・教師等専門家の力を適材適所で活用すること</li> <li>・ 個別避難計画と防災訓練を組み合わせることで、大きな不安を抱える方々へ少しなりとも心配を減らしていただくこと</li> <li>・ 子供に避難所運営委員会のスタッフとして参画してもらい「仕事」をしながら防災・減災を体験してもらうこと</li> </ul>
八幡台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 炊き出し、給水用フジコン、マンホールトイレ設置、携帯トイレの使い方、パーテーション設置、ダンボールベッド作成、防災動画の視聴（携帯トイレの重要性や備蓄数に関する動画）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずは、災害時のトイレの重要性を伝え、携帯トイレの備蓄の重要性や使い方の動画を視聴した後、実際にトイレの使い方指導の流れで、災害関連死予防策の一環としてトイレ訓練を実施した。</li> </ul>

原山台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民による避難所開設可否判断訓練、水消火器訓練、物干しざお毛布を使った仮設担架を作り搬送する訓練、A E Dの取り扱い</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者を3つのグループに分け、3つの訓練を順番に行った。参加者を手持ち無沙汰にすることがなかった。</li> <li>・受付の方法を改善することにより、参加者をスムーズに待機場所に誘導することができた。</li> </ul>
萩山台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応急担架訓練、避難所開設受入れ訓練(一般受付の設置)、簡易トイレ設置の組立て解説・レクチャー、炊き出し訓練、資機材の組立て解説(ハソリ、投光器、発電機、パーテーション、段ボールベット等)、安否確認訓練、報告伝達訓練、防災台帳更新</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練参加者が「お客様」にならぬよう、訓練全般に参加してもらった。</li> <li>・避難所運営は運営スタッフ・避難者等、全ての方々と運営していく方針で実施しています。</li> </ul>
下品野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の運動場における訓練（5訓練） 消火訓練、給水訓練、バケツリレーによる消火訓練、天ぷら油の消火訓練、簡易トイレの組立て及び凝固剤を使用する訓練</li> <li>・小学校の体育館内における訓練（4訓練） 身近な道具を利用した応急手当訓練、パーテーション設置訓練、プロパンガスによる発電機の操作訓練、炊き出し訓練</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年まで訓練していた土のうを作る訓練、倒壊家屋における被害者救出訓練、資機材の貸出し等の関係で今回から中止し、代わっての訓練として給水訓練、簡易トイレの組立て及び凝固剤を使用する訓練を実施しました。</li> <li>・今回もキャンピングカーの展示をしてもらいました。 2021年9月市と㈱レクビーが災害等で「長期避難生活が想定される場合に同社のキャンピングカーを貸与する」という協定に基づくものです。興味のある多くの参加者は訓練の合間をみて、運転者から説明を受けていました。</li> <li>・今回はドローンの実演は操縦者の仕事の都合によりできませんでした。</li> </ul>
山口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所レイアウト設定 避難所床に居住区画枠を2区画設定し、避難家族と区画を紐づけている。</li> <li>・応急トイレ設置 ドントコイ1基を組み立てて展示した。</li> <li>・ペット避難 横幕付き仮設テント2基設置し、同行避難に備えた。</li> <li>・炊き出し 地域対策本部で配膳し、支援物資とともに避難所へ届け、参加者に配布した。</li> <li>・初期消火訓練 山口分団により初期消火指導が実施された。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年実施した訓練で、指揮が機能せず、メリハリやまとまりが感じられないと指摘があったことから、訓練各部門のリーダーへ事前打合せに時間を費やし、各リーダーが全体を俯瞰する認知ができ、指揮系統が保たれた。</li> </ul>

本 地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常食(アルファ米)の炊き出し訓練を実施した。</li> <li>・防災倉庫内の発電機の試運転及び、照明器具の点灯確認を実施した。</li> <li>・避難所の使用不可の確認を建物チェックシートを使用して実施した。</li> <li>・避難所の開設訓練を実施した。</li> </ul> <p>受付⇒避難場所の振り分け⇒避難場所への誘導、避難所各指定場所に表示し参加者に説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災倉庫内の、ダンボールベット・簡易トイレ・簡易テント・パーテーション等を作成を実施した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本地連区では、瀬戸市防災訓練の前に3地区で防災訓練を実施しており、安否札の確認、声掛け確認がスムーズにできた。</li> <li>・3地区での防災訓練で、物干竿・毛布による簡易タンカ・LED訓練・怪我人の応急処置、飲料用簡易水槽の組立等を実施しているため、瀬戸市防災訓練では避難所開設・運営訓練他を中心に実施することができた。</li> </ul>
菱 野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応急手当（レジ袋使用）、救出訓練（物干しざお、毛布使用）、区分け（受付、障がい者、高齢者、感染症避難者、家族スペース、物資保管場所、ペット避難場所）、消火訓練、A E D操作、トイレ組み立て（ドントコイ、ボックストイレ）、トイレ用テント、ダンボールベッド、発電機のかけ方</li> </ul> <p>・独自で煙体験ハウスを持っているため、避難所運営訓練の中では、ハウスを組み立て、「女性専用スペース」として、着替えや授乳のスペースとして区画分けしました。</p>
新 郷	<p>①要配慮者避難の受付訓練          ②初期消火＋煙道体験＋飲料水運搬重量体験＋非常持出品展示          ③応急手当（頭部出血、腕骨折、大腿骨骨折）＋担架搬送（代用品の場合含む）          ④救急救命①（VTR鑑賞と解説）          ⑤救急救命②（要救助者発見～胸骨圧迫～AED操作の流れを実体験）          ⑥災害時対応の新聞紙スリッパの作成（ブース）          ⑦携帯トイレの使い方、家具固定方法等の解説（ブース）          ⑧炊出し（非常食ワカメご飯、芋煮(豚汁)の作成、配布、試食）          ※ メイン訓練は②～⑤、⑧の訓練</p> <p>・訓練受講者（100人）を4班に分け、順次②～⑤の訓練を受講させたが、当日の参加者数のばらつきで、事前予定の班分けと大きく異なってしまうことが予想され、受付担当者が短時間での人数把握に苦労していた。参加町内等での班の直前組み換えを考えていたが、今年度はやらずに済みました。</p> <p>・訓練の種類によっては予定時間(25分)より早く終わってしまい、時間を持て余す人が出ることが予想されたため、上記訓練の②⑥⑦のメイン訓練外の体験をしてもらうことで待ち時間の手持ちぶたさを解消させました。</p>